

進化する
ぬくもり。

株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで

JP 日本郵政
HOLDINGS

麻布台ヒルズ
森JPタワー
竣工！

詳細は P3へ



日本郵政株式会社

証券コード: 6178



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年3月期第2四半期(中間期)業績と通期業績予想

本年度中間期のグループ連結業績は、親会社株主に帰属する中間純利益1,202億円となりました。通期業績予想である親会社株主に帰属する当期純利益2,400億円に向け、順調に推移しております。また、本年度から中間配当を再開し、1株当たり25円の配当を行います。期末配当と合わせて、1株当たり50円の年間配当を予定しており、引き続き、安定した株主還元を行う方針です。

2024年3月期第2四半期(中間期)の振り返り

当社グループの中期経営計画「JP ビジョン2025」を発表してから2年半が経過し、中計期間5年間の折り返し地点を迎えており、この間に培った施策が実現してきました。

具体的には、グループ一体でのDX推進の取組として、当社グループのプラットフォームアプリとなる「郵便局アプリ」をリリースしました。本アプリは幅広いお客さまにご利用いただくため、直感的に操作できるよう工夫を凝らしており、リリース後もご好評をいただいているところです。現在は郵便物や荷物を「送る、受け取る」という機能を中心に提供しておりますが、今後は本アプリでグループ各社の主要サービスをご利用いただけるよう、段階的に機能追加を行ってまいります。

また、郵便・物流事業では、本年6月にヤマトグループ様と持続可能な物流サービスを推進していくための協業に合意しました。この協業により、ヤマト運輸様が扱うネコポス・メール便配送の全てを、日本郵便の配送網でお届けすることになり、10月から一部商品の引受を開始しています。引き続き、グループ外企業との協業を進め、お客さまと地域を支える「共創プラットフォーム」の実現に向け取り組んでまいります。

今後に向けて

当社は11月に「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けた取組の方針を公表しました。具体的な取組内容については、グループ中期経営計画の見直しの中で検討を進め、2024年度に公表することを予定しておりますが、グループ一丸となってROE向上等に取り組むことにより、企業価値を向上させ、PBR改善を図ってまいります。株主の皆さまにおかれましては、当社グループへの変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長

増田寛也

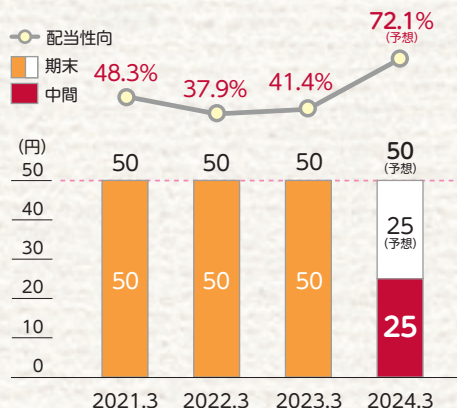
株主還元について

■ 配当金について

本年度は中間配当を再開し、中間配当金につきましては、1株当たり25円となりました。年間配当金は、1株当たり50円を予定しております。

中間配当金 25円

年間配当金(予定) 50円



■ 自己株式取得について

2023年5月15日及び2023年8月14日付の取締役会決議に基づき、取得価額3,000億円を上限とする、自己株式の取得を実施しております。

取得価額 3,000億円(上限)

- 取得し得る株式の総数:346,000,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く。)に対する割合10.0%)
- 取得期間:2023年8月15日から2024年3月31日まで

個人投資家の皆さまへ動画メッセージのご案内

当社取締役兼代表執行役社長増田寛也からの個人投資家の皆さまへの動画メッセージを配信しております。

<https://www.japanpost.jp/ir/investor/index03.html>



TOPICS. 1

麻布台ヒルズ森 J P タワーの竣工

日本郵便と森ビル株式会社様が参画する虎ノ門・麻布台地区の再開発事業である、「麻布台ヒルズ」のA街区となる「麻布台ヒルズ森 J P タワー」が2023年6月30日に竣工し、11月24日に開業を迎えました。また、11月27日からは「麻布台ヒルズ郵便局」(旧麻布郵便局から移転・改称)が開局しております。

「麻布台ヒルズ」は“緑に包まれ、人と人をつなぐ「広場」のような街—Modern Urban Village”をコンセプトに、約8.1haの広大な計画区域は圧倒的な緑に包まれ、約6,000㎡の中央広場を含む緑化面積は約2.4haに上ります。

日本一高い超高層ビルとなる「麻布台ヒルズ森 J P タワー」(高さ約330m)を始めとする複数の超高層建築を建てることで、足元には緑豊かで広大なオープンスペースを創出し、住む・働く・学ぶ・遊ぶ・憩うなど、多様な都市機能が徒歩圏内に集約された「立体緑園都市(ヴァーティカル・ガーデンシティ)」を実現します。



約6,000㎡の広さを誇る緑豊かな中央広場(イメージ)
©DBOX for Mori Building Co., Ltd.



麻布台ヒルズ森 J P タワー 外観

TOPICS. 2

ヤマトグループ様との持続可能な物流サービスの推進に向けた基本合意

当社及び日本郵便は、本年6月にヤマトグループ様と持続可能な物流サービスを推進していくための協業に合意しました。本協業に基づき、相互の経営資源やネットワーク、リソースを有効活用することで、顧客の利便性向上や事業成長を図るとともに物流業界が抱える社会課題の解決を目指します。

本年10月からは、ヤマト運輸株式会社様で引き受けた小型薄物荷物の一部を、日本郵便の配送網で配達する新サービス「クロネコゆうパケット」を開始しています。将来的には、ヤマト運輸株式会社様が扱うメール便及び小型薄物荷物の配送の全てを日本郵便が配達する予定です。

「郵便局アプリ」をリリース！

当社及び日本郵便は、2023年10月12日より当社グループの中期経営計画「JP ビジョン2025」に掲げている「グループ体でのDXの推進」の取組の1つとして、新たにグループプラットフォームアプリ「郵便局アプリ」のサービス提供を開始しました。

今回はアプリ開発の最前線に立つ日本郵便DX戦略部の若手社員にお話を伺いました。

日本郵便株式会社 DX戦略部

まつうら りょうま
主任 松浦 僚馬

2017年、日本郵便株式会社に入社。亀岡郵便局や近畿支社 金融営業部、金融業務部等での勤務を経て、2020年より本社勤務。本社では経営企画部、DX戦略部で勤務し、郵便局窓口のデジタル化や郵便局アプリを始めとする当社グループ体でのDXの推進に取り組む。



Q 「郵便局アプリ」とはどのようなアプリなのでしょうか

「郵便局アプリ」は、当社グループの新しいプラットフォームアプリです。現在、当社グループは数多くの公式アプリを提供していますが、これを段階的に集約し、利便性向上を目指しています。今回のリリースでは、郵便局のサービスのうち最も利用頻度の高い「送る、受け取る」という郵便・物流に関する機能を中心に開発しました。開発にあたっては、幅広いお客さまにご利用いただくため、「直感的に迷わずお客さまの目的が簡単に達成」できるデザインとなるよう心がけています。

Q アプリのアピールポイントを教えてください

アピールポイントは多々ありますが、特に「郵便ポスト」の場所や、郵便物等の取り集め時刻、投函口のサイズ、ポストの外観等の情報を提供する機能です。この情報は当社グループとして初めてお客さまに提供する情報です。ありがたいことに、SNS等でも「近くのポストが簡単に見つかるし、差出前に知りたい情報も分かるので便利」など、お客さまから好評をいただいております。開発メンバーとしても嬉しいですね。

また、一部の郵便局では、アプリから、郵便局にお越しいただく前に、郵便・金融窓口の整理券を発行いただくことができます。順次、実施局を拡大していく予定ですが、事前に郵便局の混雑予測や待ち組数・待ち時間も確認できますので、ぜひ一度ご利用いただきたいです。

Q 今後、アプリでできることは増えていくのでしょうか

今回のリリースでは、まずは日本郵便に関するサービスから開始しましたが、今後は、当社グループの主要サービスをお客さまにワンストップで提供できることを目指しています。そのため、ゆうちょ銀行やかんぽ生命保険のWeb・アプリサービスとの連携も行いながら、段階的な機能追加やサービス拡充、お客さま起点での改善に向け、検討を進めているところです。

今後、具体的な予定が決まりましたらお知らせしますので、ぜひ本アプリをご利用いただきつつ、楽しみにお待ちいただければ幸いです。

アプリのダウンロードはこちら



NEW
郵便局アプリ



App Store



Google Play



業績について

より詳しい情報は、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.japanpost.jp/ir/library/earnings/>



日本郵政 決算発表資料

検索

ポイント1

グループ連結の経常収益は前中間期比1,677億円増の56,181億円、経常利益は前中間期比407億円増の3,352億円となりました。

中間純利益は前中間期比857億円減の1,202億円となりましたが、これは主にゆうちょ銀行株式の売却に伴う持分比率低下(89%→61.5%)の影響と、日本郵便の減益によるものです。

ポイント2

主要子会社について、日本郵便は減益となったものの、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険は増益となりました。

また、グループ連結の通期業績予想に対する進捗率は、経常利益が54.1%、当期純利益が50.1%となりました。

経常収益

56,181億円

前中間期比 3.1%増

経常利益

3,352億円

前中間期比 13.8%増

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,202億円

前中間期比 41.6%減

■ 通期 ■ 中間期

(億円)

■ 通期 ■ 中間期

(億円)

■ 通期 ■ 中間期

(億円)

111,385

54,504

2023.3

108,600
(予想)

56,181

2024.3

6,576

2,945

2023.3

6,200
(予想)

3,352

2024.3

4,310

2,059

2023.3

2,400
(予想)

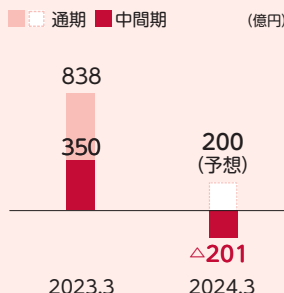
1,202

2024.3

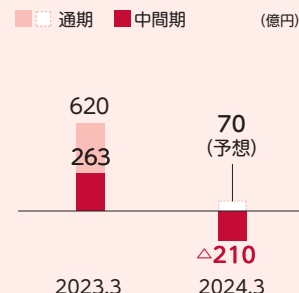
取組と概況

郵便やゆうメールの取扱量の減少等により減収となったことに加え、人件費や集配運送委託費の増加等により費用が増加したことから、営業損失は201億円(前中間期は350億円の営業利益)、中間純損失は210億円(前中間期は263億円の中間純利益)となりました。

営業利益(損失)



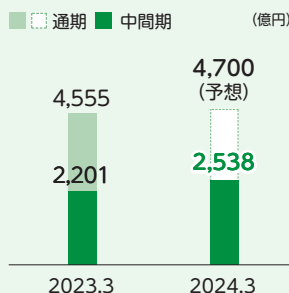
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)



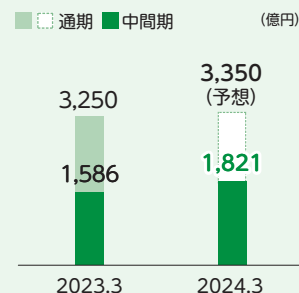
取組と概況

外貨調達コストの増加等により資金利益及びその他業務利益が減少したものの、株式のリスク調整オペレーションに伴う売却益の増加等により臨時損益が増加したことから、経常利益は2,538億円(前中間期比+336億円)、中間純利益は1,821億円(前中間期比+235億円)となりました。

経常利益



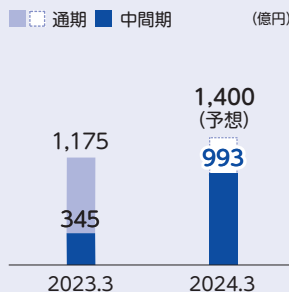
親会社株主に帰属する当期純利益



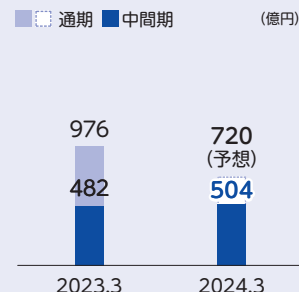
取組と概況

保有契約の減少により保険料等収入が減少したものの、新型コロナウイルス感染症に係る保険金支払の減少により基礎利益が増加したことに加え、キャピタル損益が大幅に改善したことから、経常利益は993億円(前年中間期比+647億円増)、中間純利益は504億円(前中間期比+21億円)となりました。

経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



2024(令和6)年用 年賀はがき

販売期間: 2023年11月1日(水)から 2024年1月10日(水)まで

詳しくは年賀特設サイト
「郵便年賀.jp」をご覧ください。



プーさんがピグレットと一緒に、干支の辰(たつ)にちなみ「龍」が描かれたたこで遊んでいる、お正月らしいデザイン！



ディズニー 年賀

©DISNEY.
Based on the "Winnie the Pooh"
works by A.A. Milne and E.H. Shepard.

寄付金付絵入り年賀はがき(全国版)は、龍が彩雲の中を飛んでいる、幻想的なデザインです。



絵入り[寄付金付]全国版

寄付金付年賀はがき・切手によりお預かりした寄付金は、社会福祉の増進(高齢者、障がい者、子どもの貧困への支援など)や、地球環境の保全などの事業を行う団体の活動に役立ててまいります。

2023年度実績
配分総額 2.4億円
(151団体に配分)

お年玉賞品のご案内

1等賞品は、①現金30万円、②選べる電子マネーギフト[EJOICA(イージョイカ)セレクトギフト]31万円分、③2023年発行特殊切手集&現金20万円、のいずれかをお選びいただけます。

*2023年発行特殊切手集は、2023年1月から同年12月までに発行された特殊切手と、切手デザイナー描き下ろしのこでしか手に入らないオリジナルフレーム切手を収めた、特別な切手集です。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます



①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6178



検索窓から いいかぶ

検索



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
[件名]「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

株式に関するお問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社

郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号	日本郵政専用ダイヤル ☎ 0120-580-840 (フリーダイヤル) (受付時間 土曜日・日曜日・祝日・12/31~1/3を除く9時から17時)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/



日本郵政株式会社
〒100-8791
東京都千代田区大手町二丁目3番1号

